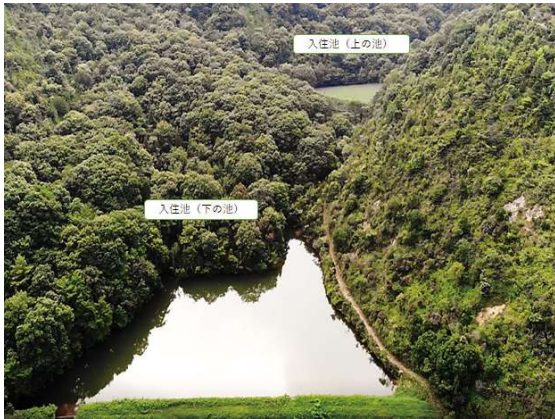


入住池 (上の池・下の池)

ため池 訪問 ルール	駐車場	魚釣り	バーベキュー	ペット糞尿	たき火	生物放流	車両進入	その他
	×	×	×	×	×	×	×	ごみのポイ捨て ×

加古川市



ため池データ			
所在地	加古川市志方町原		
総貯水量	(上の池) 8,500 m ³ (下の池) 21,000 m ³		
貯水面積	(上の池) 1,100 m ² (下の池) 5,600 m ²	受益面積	(上の池) & (下の池) 各3.0ha
管理者	原町内会水利委員会		
築造年	(上の池) 1590年頃 (下の池) 1610年頃		
改修年	(上の池) — (下の池) 1975年		



ため池紹介

上の池・下の池は、高御位山の北側の谷間に位置する小さな谷池です。双方が約200mの位置にあり、親子池の関係にある。現在は、農業用水としての利用は少なく、防災・治水面での役割が大きい。

上の池の洪水吐付近に、落差6m程の「幻の滝（常に流れていない）」があり、下の池へ流れ込んでいます。

◆歴史・文化等

上の池は1590年頃、谷の麓に数人が入植し「茶畑」を開墾、その後に谷をせき止めて築造された。下の池は1610年頃、「茶畑」を「田」に変えた後に、築造されたようである。現在の「新田村」地名の由来になったと思われる。

*「入住」とは、谷の入り込んだ隅を言うらしい。

◆自然環境

谷池特有の青く澄んだ水面は美しく、高御位山を借景に四季折々の風景が映えている。

冬はカモが飛来、春はウグイスなどの野鳥のさえずり、時々カイツブリも見かける。また、珍しい山野草も自生するなど自然豊かな環境である。



上の池に設置した名称看板



下の池の堤体の草刈

ため池ごよみ



項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
農作業	野菜全般	■											
	溝掃除(普請)		●										
水利・保全作業	堤体草刈				●					●			
	クリーンキャンペーン(草刈・清掃)		●										
	配水操作(ゲート、セキ板等)			■									
	かいぼり(池干し)								■				
	堤体野焼き											●	
イベント等													
主な動物の餌	山桜、つつじ	■											
	紅葉								■				
	わらび	■											
景色等の見頃(周辺も含めた眺め)	幻の滝	■											
その他	大雨前の事前放流			■									
	里海協働活動												